

静岡西ロータリークラブ会報

◎ 会長 富田英児
◎ 副会長 北島俊秀
◎ 幹事 白鳥三和子
◎ 副幹事 鈴木麻祐子

例会日：毎週水曜日 12：30
(但し第一水曜日 18：30)
例会場：ホテルセンチュリー静岡
Tel 054-284-0111

クラブ事務所
静岡市葵区追手町 12-12
静岡安藤ハザマビル 5 階
Tel:054-254-5611/Fax:054-221-0515

第2023回 2018年2月23日(金) 静岡市内7クラブ合同例会

ホテルアソシア静岡 三階 駿府の間 12：00 食事 12：30 開会

ホストクラブ：静岡日本平ロータリークラブ

食事中 会長セレクトミュージック 「逢いたくて逢いたくて」宮川泰&宮川由利子

◎開会挨拶 司会：池上直子副幹事

◎開会点鐘 洞江 秀会長

◎ロータリーソング 「国歌斉唱」「奉仕の理想」
ソングリーダー 浅井 友一君



◎参加クラブ会長紹介・出席報告 望月 由美幹事

静岡ロータリークラブ会長	植松 昌美様	66名
静岡東ロータリークラブ会長	高田 雅司様	40名
静岡南ロータリークラブ会長	江河 宏様	12名
静岡西ロータリークラブ会長	富田 英児様	27名
静岡中央ロータリークラブ会長	加藤 文昭様	30名
静岡北ロータリークラブ会長	内藤 英男様	23名
静岡日本平ロータリークラブ	洞江 秀様	37名
	合計	235名出席



◎ホストクラブ会長挨拶 会長 洞江 秀君

皆様こんにちは。本日は静岡地区7クラブの合同例会です。私は、ホストクラブの静岡日本平ロータリークラブで本年度会長をしております洞江秀と申します。静岡日本平クラブでは、本年度「ロータリーをもっと楽しむ」をテーマにしております。毎週例会の時に会長セレクトミュージックと称して、会長の独断で好みの1曲を会員に無理矢理聴かせています。今月はバレンタインデーがある月ということで愛の歌をセレクトしてまして、本日は園まりさんが歌った「逢いたくて逢いたくて」です。私としては園まりさんの原曲を流そうと思ったのですが、昼間からムードありすぎなので、作曲者の宮川泰さんがジャズ風にピアノ演奏したバージョンを選択してみました。

ところで、本日2月23日は重要な記念日であることは皆さん御承知のことと思います。静岡県民にとっては富士山の日ですが、ロータリアンにとって最も重要な日、ロータリークラブが誕生した日です。1905年の今日、アメリカ・シカゴで青年弁護士だったポール・ハリスが友人3人とともに世界初のロータリークラブを設立したということです。毎年、2月近辺に合同例会が開催されているので、過去にもロータリー設立記念日に開催されたことがあったのか15年前まで遡って調べましたが、ありませんでした。実のところ、今回の合同例会の開催日も会場の都合でたまたま決まったことで、ロータリー記念日に合わせようと意図したわけではなかったのですが、当クラブがホストで記念すべき日に合同例会が開催でき、しかも会長挨拶までできるとは何と幸運なことかと喜んでおります。さらに、2月23日について言えば、来年、皇太子様が新天皇に御即位されますと、再来年からは本日が天皇誕生日の祝日になるわけですので、天皇誕生日でロータリー設立記



念日で富士山の日というトリプルにおめでたい日になるわけです。そのときは祝日なので合同例会はできないですが・・・。

さて、本日の例会ですが、講師には柳家花緑師匠をお願いしております。合同例会で落語家の方に講師を務めていただくのは、12年前に静岡中央クラブさんがホストクラブの時に柳家権太楼師匠が講師をされて以来です。ここ数年、落語を取り上げたアニメが若い方々に人気を呼んで、今、落語ブームと言われております。落語というものは、日本独特の一人芝居的な伝統話芸ですが、古典話の皮衣に時代に応じて噺家がアレンジを入れて噺をするので、同じ話を何度聞いても飽きないという魅力があります。また、本編に入る前のマクラ噺は、時事ネタや噺家独自の視点や経験などを笑いにくるんで、聴衆の心をつかんでしまうという点で魅力的な話し方の見本だと思います。本日は、大いに笑って、日頃のストレスを発散していただきたいと思います。

◎講演

「笑う門には福来たる」のか？

講師：柳家 花緑師匠

<講師紹介>：洞江 秀会長

本名＝小林 九（こばやし きゅう）

昭和46年8月2日 東京都豊島区生まれ

昭和62年3月 祖父である五代目柳家小さんに入門「九太郎」

平成元年9月 ニツ目に昇進して「小緑」

平成6年3月 戦後最年少真打に昇進して「花緑」

出囃子／お兼ざらし



現在、テレビ・ラジオ・舞台など、多方面で活躍中！静岡市内では、毎年2月3日の平澤寺星祭での豆まきや、駿府城公園紅葉山庭園・茶室で行われる「花緑の夢空間」でもいられている。

<講演内容>

- 寄席文字の紹介 私の「花緑」という看板。空白をなくすという文字で、満席を願うもの。橘流が手書きで書いております。
- 今日のタイトルは、私が四年かけて書き上げた本のタイトルです。アマゾンで2度のベストセラーを受けました。筑波大学の村上和雄教授（細胞学）に協力を得て、笑いが体にいいということで、笑うと血糖値が下がることを書いております。二時間落語を聞くと血糖値が下がる。今日落語を聞けると思うだけで血糖値が下がる。笑い筋を刺激するだけでも血糖値は下がるそうです。また、笑いは体温を上げ、免疫力を上げます。人間には60兆個の細胞があり一日8,000個のがん細胞が出来、馬鹿笑いは2,000個のがん細胞を死滅させるとわかり、一日四回笑えば、がん細胞は死滅する計算になります。
- 私は識字障害という病気で、字の読み書きが苦手、注意欠陥で先生の話聞いてられない多動性障害であり、多弁症です。よって、落語家は自分に合う仕事です。すぐに覚えてしゃべれます。

<落語「なぞのビットコイン」披露>

- 落語家は税金を取られなかった商売でした。商売として認められてなかったということです。それを先輩が税金の徴収を希望したそうです。歌舞伎は千両役者と言われるくらいお高い存在で、江戸に千両というお金が流通する場所が、魚河岸・吉原・歌舞伎なのだそうです。
- 江戸時代100軒あった寄席も国立演芸場を入れても5軒となりました。落語協会と落語芸術興行のふたつがあります。来年の大河ドラマではビートたけしさんが、古今亭志ん朝を演じます。のむ・うつ・かうの人でした。それが無くなり、今では、コーヒーを飲む、ゴルフを打つ、猫を飼うになってしまいました。これが、いい芸人が育たなくなった原因ともいわれております。
- 私は、平澤観音の平澤寺に師匠の跡を継ぎ豆まきと落語会に参加させてもらっており30年になります。私お酒が飲めないのですが、その席で「君は人生を半分損している。」と言われる時がありますが、その方を見ても人生を得しているようには見えません。と言っても酔っ払いはチャーミングで好きです。普段まじめに仕事をしている人が、お酒で崩壊するのが好きです。そのギャップが人間の魅力だと思います。

<落語「親子酒」披露>

◎会長謝辞

◎閉会の点鐘

洞江会長



会報担当：狩野育史